

1年生学年だよ！

平成30年10月26日(金) 第29号



《後半戦》に向けて



10月も下旬になり、いよいよ前期学級委員の任期も終わりに近づいています。今週ぐらいから、各クラスでも後期学級委員の話題が出ているのではないのでしょうか。ということは、1年生の学校生活も、いよいよ“後半戦”を迎えるということです。中学校に入学してすぐの、どの委員がどんな仕事をするのかイメージできなかった4月に比べて、今回はだいぶ仕事の内容もわかってはいます。そのうえ、クラス内の人間関係も深まっているので、だいぶ立候補しやすいことでしょう。ぜひ、どのクラスのどの委員も立候補で決めてほしいところです。

*

前回の学年だよりで、「体育大会の準備&片づけのときに、係生徒が奪い合うように仕事をしてくれた」という話を書きましたが、そのときの話を思い出してください。「仕事がある」ということは「仕事がない」ことに比べると、負担が増えるのは事実です。しかし、クラス・学年・学校などの集団のために【仕事をする】ということは、その集団に【貢献する】ということです。そして、集団に【貢献する】ということは、その集団の【役に立つ】ということです。私たち人間にとって、誰か他の人の役に立つこと、または、自分が所属する集団に貢献することが“幸せ”でなくて、一体何が“幸せ”だのでしょうか？ 幸いなことに、どのクラスも、誰かが仕事をしようというとき、それに協力する雰囲気が出ています。前期に委員をしていなかったという人も、勇気を出して立候補してみてください。あとはみんなでフォローしますから。

*

とはいえ、どの委員にしても、やると決まったときには「仕事がある」ということを忘れないでください。月に一回の中央専門委員会はもちろんですが、委員によっては定期的に回ってくる当番の仕事もあります。クラスや学年を代表する仕事もあるだろうし、放課後に居残りをして作業することもあるでしょう。そんなときに、「ちょっと家の用事があって…」などといって休んでしまう人は、その仕事に向いていないといわざるをえません。クラスのみんなは、きっと委員の人が仕事しやすいようにフォローしますが、委員をする人自身は「自分が仕事をする」という、もっとも基本的なことを忘れないでくださいね。





体育大会川柳・我がクラス川柳



体育大会のふり返しシートで、恒例の川柳づくりをしました。今回は《体育大会川柳》だけでなく、水泳大会・合唱コンクール・体育大会と3つのクラス対抗行事を乗り越えて、たくましく成長した自分のクラスのことを詠み込んだ《我がクラス川柳》も考えました。それら、クラスで考えた川柳の中から、今回も優秀な作品をいくつか紹介します。

《体育大会川柳》

- ◆応援で順位を決めたら優勝だ
- ◆全力でゴールを目指すその背中
- ◆青空と 観戦の声と おにぎり
- ◆頑張った証拠は痛い筋肉痛
- ◆応援の声がそろえば もう1位
- ◆全員の願いを込めて駆けぬけた
- ◆学級旗 クラスの思い なびかせて
- ◆悔いはない一生懸命走れば
- ◆助け合い 支え合っての優勝だ
- ◆疲れたな 走るのじゃなく歩くのが
- ◆RUN(5)をして ゴールを切ってランクイン!!
- ◆個人種目 本気で走りビリになる
- ◆吐きそうになりつつ繋ぐ この思い
- ◆友情のバトンをつなぐ ぼくらの手
- ◆川柳を書けないくらいの思い出が
- ◆堀江中 全校生徒で輝いた
- ◆バトンパス つないだ思い 走りきれ
- ◆やりました 見ててください この笑顔
- ◆リレー種目 最後と知らず プレッシャー
- ◆青学年 最強クラスは我がクラス!!
- ◆全学年 一番笑顔なこのクラス

《我がクラス川柳》

- ◆2学期で さらに広がるクラスの輪
- ◆我がクラス ほんの少しは成長だ
- ◆キラキラと輝くみんなの笑う顔
- ◆我がクラス 精一杯に頑張った
- ◆オレたちは声だけじゃねえ なめんなよ
- ◆我がクラス にぎやかワイワイおもしろい
- ◆我がクラス 次もねらうぞ4連覇!!
- ◆2学期もクラスの成長止まらない
- ◆我がクラス 堀江魂 見せつけた
- ◆このクラス YDK の集まりだ



2学期に入って、3つのクラス対抗行事を協力して乗り越えるうちに、それぞれに違った特長と個性をもって5つのクラスが色づいてきました。その“色”はそれぞれに異なっていますが、すべてのクラスに共通していえるのは、誰もが“我がクラス”を愛していることでしょう。勝敗に関係なく、自分のクラスに誇りをもっている様子が、川柳から伝わってきます。

保護者のみなさまへ

1年目の中学校生活も、いよいよ後半戦に入ります。どのクラスも同じことをしているはずなのに、それぞれに違った個性をもった5クラスに育ってきています。上に紹介した川柳から、子どもたちが学校生活を味わいつくしている様子が伝わりますでしょうか。何よりうれしいのは、誰もが自分のクラスへの愛着を確実に育んでいることです。1年目の学校生活も残り5か月。これからは各クラスの色は、ますます深みを増していきます。毎日が刺激的な学校生活に“判で押したような”日はありません。これからもご理解とご協力をお願いいたします。

